美術科学習指導案

実　施　日　平成２３年８月３１日
実施クラス　１年５組(３校時)
授　業　者　　畝　村　明　男

１ 指導単元　　デザイン(平面構成とレタリング)

２ 授業改善のポイント（言語活動の充実の観点から）

・発表の場面を多く作ることで、他の生徒の考えや苦労した点等を知り、自分の作品制作に生かせる機会とする。

３ 本時の授業

（１）本時のねらい

・作者の発表を見聞きし、そのよさや苦労した点を知り、各自の作品作りに生かす。

（２）本時の展開

	学　習　内　容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点（評価）
導入	夏休みの課題発表	簡単なコメント(よい点・興味深い点）を入れ、クラス全員の作品を次々と見せ、挙手で発表者を選出させる。	進度表の記入。 感想を述べながら、挙手をし、発表者選出に参加する。	適切な発表者を選出できたか。 （できなかった場合、教師が指名）
展開	制作者（５～６名）の発表 技法の確認	発表者に、作品について述べさせ、生徒からの質問に答えさせる。 ・変形文字の枠作り写し方再確認。 ・着色失敗時の修正の仕方等。	それぞれの発表を聞き、ワークシートに感想等を記入する。 発表者に質問する。 説明を聞き、技法の確認を行う。	自分なりに感想を持ち、作品のよい点を発見できたか。疑問点について質問できたか。 未完成の生徒は、これからの作業計画を立てることができたか。
まとめ	参考点の確認 次回以降の作業確認	・文字の完成から写し・着色 ・完成者は、次課題年賀版画下絵へ	参考点の確認。 それぞれの次回以降の取組の確認。 進度表の記入。	次回以降の取組の確認ができたか。 （含む宿題）